

しゃきよう
「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

Y ホームページアドレス Y
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo/



編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264



10月1日(月)から 赤い羽根共同募金運動がはじまります。

あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、住みやすい町へつながる一歩となります。みんなで住みやすい町をつくるため、大きな力となる共同募金。ぜひ、ご協力をお願いします。

わたしたちは共同募金を応援しています。

横浜DeNAベイスターズ
みんなであつなぐすけあい
横浜F・マリノス

共同募金にご協力をお願いします！

10月1日～12月31日
赤い羽根共同募金



共同募金の
使途は、
「はねっと」で
公開しています。



<http://hanett.akaihane.or.jp/>

共同募金の配分により様々な地域の活動が行われています。



『よこすか社協だより』は、みなさまからの賛助会費ならびに共同募金配分金を財源として発行しています。



東日本大震災

～今わたしたちにできること～



～今年も走りました!!～

横須賀発被災地支援ボランティアバス「フッピー号」

ボラバスは、車中泊を含む2泊3日の活動です。金曜日の夜に集合して、夜通しバスを走らせ、活動場所の近くで、身支度を整え朝を迎えます。

8時間のバス移動で縮んだ体が、東北のさわやかな空気をたっぷり吸い込み、いよいよ活動が始まります。

被災地の人々に対して何かをしたいという共通の気持ちで、16歳から80歳まで世代を超え、本年度予定した4便全体で166人が活動しました。



6月29日出発の第1便では、大学生5人を含む38人が参加し、宮城県南三陸町で活動しました。

宿泊した南三陸町歌津字番所「民宿高倉荘」の主人は、長く自治会長をしている方で、被災した時に、日ごろの取り組みが役立ったこと、被災した人と免れた人の複雑な心の内、小さい地区への復興支援が遅れている現状など、参加者の心の深くに届く話を聞かせていただきました。

●大勢の学生の参加に感謝

今年のボラバスの特長は、なんと言っても学生パワー、特に高校生が大活躍しました。

夏休み期間中となる、第2便から第4便は、各回25人ほどの高校生が参加し、若さと、体力、明るさが、東北に満ちあふれました。

高校生たちは、テレビで知っていたはずの被災地を肌で感じ、自然に対する人間の無力さや、この小さな力でも役に立てることを体験し、横須賀に戻って自分たちができる支援を考えるきっかけになりました。

●ボランティアの活躍に感謝

泥かき作業で指定された場所は、起伏のない緩やかな傾斜地でした。そこで泥を掘り進むと、一抱えもある丸みのある石がいくつも出てきます。アタッシュケースも出てきました。海から来たのか、山から来たのか。さらに掘り進むと、コンクリートの板状のものに突き当たりました。それは、延々と続く側溝の一部でした。この地面の50センチ下には、山へと続く道路があつてその脇の側溝だったことがわかりました。

依頼者に、側溝が出てきたことを伝え、ボランティアがそこまでしてくれたと、大変喜ばれました。

●ボランティアセンターの活動に感謝

現地の災害ボランティアセンターには、被災地で生活している人から、さまざまな作業依頼が届きます。センターでは、その日に活動するボランティアの人数と照らし合わせ、活動場所を決めます。

依頼の多くは、草刈りや、ガレキ拾いですが、海が荒れた後などは、地元漁協からの依頼で、海岸に打ち寄せられたガレキを回収することもあります。被災地の状況は日々変わり、直接的な労力支援は、活動場所が限定されてきています。

●応援し続けることができることに感謝

これから、継続的な支援とともに、災害を、被災者を忘れない気持ちが一番の支援ではないでしょうか。身近な、物産展や観光でも東北を応援し続けましょう。

※このほかに、8月4日出発の石巻便では、横須賀青年会議所の「よこすか海軍カレー」、市教育委員会の学習支援活動と協力し、傾聴ボランティア、おもちゃの病院、布おもちゃサロン、緑ヶ丘女子高校生による紙芝居などの専門ボランティアが「サロンよこすか」を開催しました。

東日本大震災義援金にご協力ありがとうございます

神奈川県共同募金会横須賀市支会では、東日本大震災の義援金を受け付けています。

※義援金の受付期間は

3月末日までとなっています。

募金状況(8月31日現在)

18,192,295円

ご寄付いただきました

ボランティアバスの運行に際し、多くの方からご支援をいただきました

※順不同・敬称略

桜井健、久里浜商店会協同組合、明珍スイ、よこすかパリ祭実行委員会、第28回七夕コンサート、湘南鷹取自治会連絡協議会、鈴木良子、いーちゃイチャフェスティバル実行委員会、カレーの街よこすか事業者部会、(公社)横須賀青年会議所、(有)安田養鶏農場、ハンドニットの会、よこすか布おもちゃグループ「ポケット」、(特)YMC Aコミュニティサポート、横須賀市1000年の森を作る会、狩野節子、小川暁美、匿名1件 (6月1日～8月31日)

アップ
～地域の力をさらにUP!～

必見!

“小さな工夫 大きな一歩” ⑮

毎週やってます! 子育てサロン「ひよこ」

逸見地区社協が運営する、子育てサロン「ひよこ」。毎週水曜日 10時から11時30分まで、逸見駅前にある逸見地区ボランティアセンターで開催しています。(第4水曜日は逸見コミュニティセンター集会室)

朝9時の逸見コミュニティセンター集会室。「ひよこ」の中心メンバーである主任児童委員や民生委員、そして保育士の資格をもつ方など、「ひよこ」を支えている心強いボランティアが、次々と会場に集まってきました。取材した日は夏休み中だったこともあり、子ども会を通じて集まった地元の沢山小学校から6人、逸見から市立横須賀総合高校へ通う女子高生とバレーボール部の仲間4人もボランティアとして参加しました。

10時前になると、少しずつ未就園児の親子がやって



来て、会場はいつの間にか賑やかに…。親子がボランティアを交えておもちゃで自由に遊んだ後は、参加しているみんなと、ピアノや音楽に合わせて体を動かし

たり、ゲームなどをしながら、終わりの時間まで楽しく過ごします。ボランティアもお母さんや子どもたちの中に入って一緒に楽しんで参加しますが、2人の子どもと一緒に参加したお母さんや、なかなか輪に入れないお母さんには目配り、気配り、心配りで応援します。こんな子育てサロン「ひよこ」。ぜひ参加してみたいかが?



なお、市社協では市内各地域で「地域福祉」を進めるため、地域福祉活動計画を策定しています。その取り組み目標の一つに「子どものころから地域や福祉にふれられる環境をつくっていこう」を掲げ、地域のみなさんに提案しています。「ひよこ」では、未就園児と保護者を対象にした普段のサロン活動に加え、ボランティアとして小学生・高校生にも参加してもらうことで、この取り組み目標を実践しています。

参加したお母さん

毎週やっているというのがいい。せっかく母親同士で知り合っても、月1回だと次に参加したときに忘れてしまうけど、毎週やっていることで、お互いに顔を覚えてどんどん知り合いができます。



ボランティア(小学生)

小さな子どもたちを相手に初めは緊張したけど、時間が経つにつれて楽しく一緒に遊べるようになりました。



ボランティア(高校生)

将来は保育士の仕事に就きたいと思っています。この日の経験をとおして将来の自分が見えた気がします。



主任児童委員

サロンに来た未就園児の様子が普段と違っていました。小学生や高校生は、年齢が近い分、我々大人とは違って気持ちが合うのかもしれません。これからも時間をつくって来てほしいです。



住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本店ローンセンター 0120-413-357

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>

シリーズ 成年後見

第3回 後見人等の職務



本人の代理人として、法律行為を行います。

後見人等には“身上配慮義務”といって、後見制度を利用する本人(被後見人等)の意思を尊重し、心身の状態や生活状況を見ながら、本人を保護・支援する役割があります。

家庭裁判所から与えられた権限の中で、本人を見守り、財産を適切に維持・管理する義務を負っています。その職務は大きく分けて2つ、「財産管理」と「身上監護(しんじょうかんご)」です。

● 財産管理

預貯金・現金等の管理と収支の記録
各種費用の支払い
不動産管理 等

● 身上監護

医療・介護・福祉に関する契約の締結、
契約がきちんと行われているかの確認
本人との面会による状況把握 等

職務が適切に行われるよう、後見人等は、家庭裁判所の監督を受けます。

- ・後見人等に選任された時は、本人の財産状況を報告し、本人にふさわしい支援計画を立てます。
- ・また、行った職務について、定期的に家庭裁判所に報告することも必要です。



市社協では、成年後見制度についての相談をお受けしています。

■あんしんセンター TEL (821) 3605

☆次回は「申立」
について紹介します。

主催／神奈川県社会福祉協議会・かながわ成年後見推進センター 共催／横須賀市社会福祉協議会

親族後見人のための講習会と相談会

認知症や障害のある人の成年後見人の約6割を占める親族後見人への支援として、家庭裁判所や専門職後見に関わる団体などの協働により開催します。

日時：10月27日(土) 13時～16時30分

会場：総合福祉会館 5F ホール(※駐車場の用意はありません。公共交通機関をご利用ください)

定員：講習会：150人 相談会：30人 (参加費：無料)

対象：親族後見人の方、これから親族後見人になる方、相談支援機関職員等

内容：講習会：13時～14時20分「成年後見人の基本的な職務」講師／横浜家庭裁判所

相談会：14時30分～16時30分 (1件30分の個別相談会です)

※相談員は、弁護士、社会福祉士、司法書士、行政書士 ※秘密厳守

申込み方法：所定の申込書(市社協ホームページよりダウンロード可、市政情報コーナー・行政センター等各窓口にもあります)にご記入の上、FAX、メールまたは郵送にてお申し込み下さい。

※締切り 10月19日(金)(必着)

【申込み・問合せ】 神奈川県社会福祉協議会・かながわ成年後見推進センター

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター内

TEL：045-312-5788 FAX：045-322-3559 Eメール：assist@knsyk.jp



AD.MIND Co., Ltd.
Design Production Company

最良の結果を導き出す良きパートナーでありたい。

当社は、ワンストップ・トータルデザインサービス企業として設立いたしました。お客様のニーズに最大限お応えするためにお客様との厚みのあるコミュニケーションを最重要と考え、プロセスひとつひとつに“想い=マインド”を込めています。

企画 デザイン(Graphic・Web) 撮影

eBook 3DCG Movie 印刷

〒239-0807 横須賀市根岸町3-14-25 グレイス5/1F
TEL.046-838-0555(代) FAX.046-834-3331

株式会社 アド・マインド

E-mail:contact@admind.jp

URL:<http://admind.jp>

横須賀市社協の福祉活動を 応援してください! 賛助会員募集中!!

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただきますことで、ご支援をいただくものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています!

賛助会員の
みなさまのご支援で
次の事業を
行っています

- 社協だよりの発行 (年4回)
- ホームページの開設
- ふれあいキャンプ
- ボランティア体験
- おもちゃの病院

賛助会員のご紹介

★個人(179人)

平成24年6月1日～8月31日
〈順不同・敬称略〉

梅田英治、梅田和子、佐藤良美、石垣誠一、星野雅一、三守進、植野不二夫、五十嵐裕、葛博之、北見万幸、脇範泰、鈴木博、泉谷洋子、森田佳重、田村武男、宮川隆文、石井英夫、後藤一也、小林利彰、佐々木雅子、高橋行輝、惣田晃川名理恵子、佐藤正弘、高木英俊、土田賢一、室木純一、加藤貴美子、中谷圭子、佐藤嘉雄、有沢幸雄、石川智美、村田省平、濱田千入、小貝幸久、神藤公雄、石川伸治、高場利勝、角田幸代、鈴木由美子、井手之上麻理子、宮村聖也、山野井徹、濱野芳江、出石珠美、高木厚、三浦秀明、高橋ゆきえ、宮崎哲雄、佐藤洋志、原邦彦、田中靖子、吉原玲子、尾崎哲夫、佐藤京子、堀合幸子、平野昭弘、平野徳子、二見道乃、井出聖子、佐藤昭明、田中峯子、飯泉

★加入方法★

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。

個人会員 1,000円 / 団体会員 10,000円
*会費は年会費となっており口数は何回でも結構です。
〒238-0041 本町2-1 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課
TEL (822) 1-1301 / FAX (822) 02694
Eメール shakyo@w7.sor-net.ne.jp

賛助で参上!
社協活動応援団



★団体(21団体)

昭文、青木秀介、穂本裕子、喜多十三雄、小林好明、鶴田健次郎、中村みち、手塚武夫、藤掛一子、外岡幸吉、井出美佐子、山崎公恵、関本貴子、齊藤稔、長養成子、末廣良子、幡野克二、渡辺俊雄、富田好昭、金子三三子、高橋やエ子、江川正美、江川静子、岸岳、岸美千代、洲上勝啓、洲上隆子、高橋民雄、中鉢ナツ、山口さくえ、徳永淑子、松本康夫、山本明、山本壽美子、田中清、田中正江、須藤久男、倉科睦子、井上豊子、藤間信明、長嶋利夫、田嶋敏彦、福島梅子、篠原登茂恵、村越志津子、上田滋、上田順子、龍崎義信、栗原正而、栗原成子、藤井喜美子、三浦和子、山内雪枝、渡辺繁子、井口一彦、長瀬清、長瀬キリ、小野久美江、松島きみ子、小野みゆき、山下由美子、石塚美代子、高木進、高木登世子、山岸幸子、山中静代、高橋和代、臼井弘子、久保田朋恵、大久保貞子、山崎晴海、岡本基明、三木早苗、高橋和雄、西村忠、西村久子、三留智明、村田英朗、平田初枝、後藤理、飯野雄彦、柳八重、石渡嘉津子、鳴井広、鳴井千恵子、一方井幸子、片桐久吉、瀧野英子、本間嘉弘、吉村久子、鈴木昭利、永妻和子、三富錦子、北川しん、岩田恭宗、岩田勝江、志邨猛彦、永山良文、上田サト子、金井利有子、大槻節子、白井幸江、大久保徹、熱田千津子、龍崎信子、浅野みつ江、白石義和、龍崎朝子、中村由記枝、松本幸子、小澤日子、原田圭子、近山通正、早川進、小杉啓恵、白鳥由佳子、渡辺秀子

ボランティアグループなつめ、ハンドニットの会、横須賀個人タクシー協同組合、松月製菓(資)、西田装美(株)、神奈川県美容業生活衛生同業組合横須賀中央支部、日洋物産(株)、(株)イノウエ、ボランティアグループ華雅会、古屋整骨院、ミーズ設計連合協同組合、(社)神奈川県建築士事務所協会横須賀支部、(資)石塚商店、(株)三春商会、横須賀落語愛好会、(株)エイヴィ、神奈川・横須賀・ロバスクラブ、(株)陽報、(財)電力中央研究所、横須賀三浦鍼灸マッサージ師会、洒落井会

<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談 相談は無料

お客様相談室

ご相談内容: 相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。



TRiBank Miura Fujisawa

三浦藤沢信用金庫



知ろう!!
参加しよう!!
つながろう!!

武山地区社会福祉協議会 第10回福祉バザール

武山地区の福祉・地域団体等による地域交流を目的としたバザール(物品販売、模擬店等)です。

日 時: 10月28日(日)11時~13時30分

場 所: JAよこすか葉山本店(フロア武山)集荷場
(京急バス停「武山住宅」「一騎塚」下車)

その他: 入場自由、小雨決行

問合せ: 武山地区社会福祉協議会
武山地区ボランティアセンター
TEL/FAX 856-2943

催し盛りだくさん!!

第37回横須賀三浦地区 障がい児者ふれあい作品展

社会福祉施設・作業所等で制作した作品等の販売・展示を行います。

日 時: 11月6日(火)~9日(金)10時~20時
(最終日は18時まで)

場 所: ショッピングプラザ横須賀2階センターモール
(京急汐入駅またはJR横須賀駅下車徒歩5分)

問合せ: ふれあい広場実行委員会事務局(清光園 担当: 秋津)
TEL 857-1367 FAX 857-1670

第24回横須賀三浦地区 ふれあい広場

横須賀三浦地区の障害のある方と地域の皆様との交流を目的としたイベントです。ぜひご参加ください。

日 時: 11月10日(土)10時~14時

場 所: 総合福祉会館5階~7階
(京急汐入駅またはJR横須賀駅下車徒歩5分)
※お車でのご来場はご遠慮ください。

内 容: 社会福祉施設等による模擬店や作業所等の作品販売、パソコン写真、ゲームコーナー等の各種アトラクション、ステージイベントなど

問合せ: ふれあい広場実行委員会事務局
(三浦しらとり園 担当: 武田・杉田)
TEL 848-5255 FAX 848-5258



子育て支援講座~里親制度を知ろう~

「里親制度」は、親の離婚や病気などさまざまな事情により、家族と一緒に生活することのできない子どもたちのために、信頼と愛情に満ちた家庭的な養育の場を保障する制度です。

この講座では、未来を担う子どもたちがすくすくと成長していけるよう支援する「里親制度」について学びます。

	日 時	内 容	場 所
第1回	12月1日(土) 10時~12時	・里親制度紹介 ・ビデオによる里親活動の紹介、質疑応答	総合福祉会館
第2回	12月8日(土) 10時~12時	・児童養護施設を知ろう ・施設見学	春光学園
第3回	12月15日(土) 10時~12時	・里親になって感じること~里親体験談 ・講座を振り返ってみましょう ~グループディスカッション	総合福祉会館

対 象: 市内在住、原則としてすべての回に参加できる方
(ご夫婦での参加も大歓迎です)

参加費: 無料

主 催: 横須賀市児童相談所、横須賀市里親会、
家庭養育支援センター(春光学園)

申込み: 氏名、住所、電話番号、参加人数、保育が必要な場合はお子様の年齢と人数を、電話、FAX、Eメールで横須賀市児童相談所へお知らせください。

※受付は先着順

問合せ: 横須賀市児童相談所 TEL 820-2323 FAX 826-4301
Eメール cgcp-cfr@city.yokosuka.kanagawa.jp

全クラス 試してナットク!



一日無料体験開催中!!

イトマンの楽しい授業を一度体験してみませんか?



電話予約制 お気軽にどうぞ

秋の入会キャンペーン

特典 1 入会金5,250円

0円

100%OFF

特典 2 幼児・ジュニアクラス

水着+スクールバッグ
プレゼント!

ベビークラス

ヘルパー+スイミングキャップ
プレゼント!

大人クラス

ゴーグル+スイミングキャップ
プレゼント!



イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11
http://www.e-itoman.co.jp/

☎046-823-6170



フッキーのよこすか探訪：京急汐入駅

よこすかボランティアセンター

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1 総合福祉会館4階
 開 所 月曜日～金曜日 8時30分～17時15分(土・日曜日と祝日は休み)
 電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110
 E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp
 ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>
 ※ボランティア等の申込み・問合せ先を明記していないものは、よこすかボランティアセンターが窓口です。

ボランティア大募集
～ふれあい運動会～

ふれあい運動会は毎年開催される障害のある方と地域の方の運動会です。

日 時：10月14日(日) 8時30分～17時 雨天決行
 場 所：岩戸養護学校
 内 容：運動会のお手伝い

平成24年 障害者週間キャンペーン
～YOKOSUKA～

12月3日～9日は、「障害者週間」として、横須賀をはじめ全国で、障害者理解のためのさまざまなイベントを開催します。

「あったかハート交流会」～ともに手を取りあって～

障害がある人も無い人も「障害」について一緒に考えてみませんか？

日 時：12月8日(土) 13時30分～15時30分
 場 所：総合福祉会館 5階ホール
 内 容：～障害を乗り越えて～
 横須賀市点字図書館職員 城間 紀野 氏
 ～障害者を支援するためには～
 横須賀・三浦作業所連絡会 会長 海原 泰江 氏
 ～真心でつなぐミニコンサート～
 〈演奏〉坂本中学校第一教室器楽合奏

「障害者週間キャンペーン YOKOSUKA」

日 時：12月3日(月)～12月9日(日) 10時～20時
 場 所：ダイエーショッパーズプラザ横須賀店2階
 内 容：＊パネル展示 ＊地域作業所製作品ワゴンセール
 日 時：12月9日(日) 13時30分～15時30分
 場 所：ショッパーズプラザ横須賀店2階センターステージ
 内 容：活動発表会
 横須賀市視覚障害者協会民謡クラブ(視覚障害者の方たちによる民謡マリの会(知的障害児者のエアロビクス)
 サークルあゆみ(ダウン症児によるヘルマンハープの演奏) ほか

災害時ボランティアセンター
コーディネーター養成講習会

日 時：12月1日(土)、12月8日(土)(全2日) 10時～16時
 場 所：逸見コミュニティセンター 集会室・学習室
 定 員：30人
 参 加 費：1,000円(資料・保険代ほか)
 対 象 者：災害時に設置されるボランティアセンターの運営に関心がある人、町内の役員、自主防災組織関係者、地区民児協・地区社協の関係者、町内住民
 主 催：横須賀災害ボランティアネットワーク
 (よこすかボランティアセンター事務局)
 申込方法：氏名・(団体)・連絡先をよこすかボランティアセンターへ
 ※避難所宿泊体験を平成25年1月19日(土)～20日(日)神明中学校にて予定しています。詳細は、次号でお知らせします。

第13回全国車椅子マラソン
日産カップ 追浜チャンピオンシップ2012

全国規模で行われるこの大会には、パラリンピック出場選手も参加予定です。商店街を走る車椅子の大会は珍しく、選手は多くの応援の中で競技できることを楽しみにしています。

全国から集まる選手の皆さんを応援し、大会をみんなで盛り上げましょう。

日 時：12月2日(日)10時～12時30分
 10時～パレード 10時30分～競技スタート
 場 所：追浜駅～追浜銀座通り商店街～日産自動車追浜工場
 内 容：・ハーフマラソン(3周=21.0975Km)
 ・チャレンジレース(1周=7.0325Km)

※詳しくは、日産カップ大会実行委員会事務局(日産自動車㈱追浜工場内 TEL 080-3016-5769、平日 10時～16時)または大会HPをご覧ください。



結婚

独身時代のマンションどうしよう。売ってしまおうかな。

成長

そろそろ子供達専用のお部屋が必要。住み替えの検討をしようかしら。

転勤

長期化しそうだ。この際、売ろうか。それとも、貸そうか。

同居

子供達や孫達のそばで安心して暮らせたら。住み替えの計画してみようか。

相続

実家を相続したが、今は誰も住んでなく空家なんだけど。



所有の不動産 自宅 空家 遊休地 事業用不動産 売却・賃貸・遊休地処分・有効活用

◎創業36年 横須賀・横浜・湘南エリア19拠点

ウスイグループにご相談ください



横須賀市を
中心に
実績 36年
今期買取
予算総額 50億円!!

ウスイホーム 検索



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも総合福祉会館2階です。相談日が祝日に当たるときは
お休みとさせていただきます。12時～13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

所得の低い世帯、お年寄りや障害のある方の世帯を対象に、安定した生活を送ることができるよう資金貸付の相談を行っています。

【資金について】

- ①お困りの内容によって資金の種類が異なります(一般生活費の貸付けはありません)。
- ②資金の種類によって民生委員による相談援助が行われます。
- ③原則として連帯保証人が必要です(市内在住の方)。

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

●毎週月～金曜日
10時～16時 福祉機器展示場
電話相談 TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会の建築士が相談に応じます。

【予約制】

●毎月第4水曜日
10時～15時 市社協相談室
予約は TEL(823)0386
神奈川県建築士事務所協会
横須賀支部へ
受付時間 10時30分～17時

朗読劇 ハッピーバースデー ～チャリティ公演2012横須賀～

実の母親に愛してもらえず、誕生日さえ忘れられてしまった十一歳の少女・あすかは、声を失ってしまう。しかし、優しい祖父母の元で自然の営みに触れ、「いのち」の意味を学ぶ。生まれ変わったあすが、新しい学校で何を感じ、どんな行動を起こすのか。そして、母親の愛は戻ってくるのか…。



*この公演の収益金は、(特)神奈川子ども未来ファンドを通じて、神奈川の子供たちを支える活動へ届けられます。

- ◆原作 青木和雄・吉富多美
(特)神奈川子ども未来ファンド理事長・理事)
- ◆脚色 渡辺利弥 ◆演出 二瓶紀六
- ◆出演 内海賢二、野村道子、はやみけい、斎賀みつき、
甲斐田裕子ほか

主催：朗読劇「ハッピーバースデー」2012 横須賀公演
実行委員会

日時：11月10日(土)昼／13時開演 夜／17時開演

場所：文化会館大ホール(京急横須賀中央駅下車、徒歩10分)

その他：全席指定 2,900円

【問合せ・電話予約】 tvk チケットカウンター
TEL 045-663-9999 www.tvkcom.net

＜その他の取扱い＞

- ・チケットぴあ……………TEL 0570-02-9999 (Pコード:422-232)
- ・ローソンチケット……………TEL 0570-00-0407 (Lコード:35962)
- ・イープラス……………<http://eplus.jp/happy/>

＜以下の3店舗では窓口で購入できます＞

- ・プレイガイド横須賀(モアーズシティ横須賀店7階) TEL827-2020
- ・ヤジマレコード本店 TEL822-0530
- ・アナザフット(追浜駅前) TEL865-9963

あとながき

去る二月、市内の地域包括支援センターが実施している高齢者支援の特色的活動について、四ヶ所のセンターから事例が発表された。

〈谷戸の石段が高齢者の生活障害となり、移動が困難で自宅に閉じ籠りがち。往診医の自動車利用を妨げ、重い処方薬を持ち帰れない。〉(医師の指示で調剤薬局による配達・服薬指導が可能)ゴミ出し、買い物も困難。空家が増え、引越しもできない。デイサービスを利用したくても送迎ができないと断られる。生活支援ボランティアが望まれる。昨年の東日本大震災時、津波警報で避難してきた住民に炊出し・宿泊施設を提供。高齢者を対象にアンケートを実施し、震災時に施設自らがすべき課題を把握。熱中症で倒れた一人暮らし高齢者を救済した体験を生かし、地域と協力して「救急安心カード」を千世帯以上の高齢

ありがとう

社会福祉のために、温かい寄付がありました。(敬称略)
平成24年6月1日～8月31日
船橋珠枝、佐野友の会、(株)スコーレ家庭教育振興協会、三浦藤沢信用金庫、パーラー風羅巴、(株)根岸工務店、栗田敏彦、鈴木一良、金子道可、小関敏子、松永玲子、いきいき麻雀クラブ、本町デイサービスセンター、

藤原重子、桑沢好美、大津地区ボランティアセンター、光美会、手話ダンスグループ「ゆらぎ」、横川和司、柳田和代、上町第2地区ボランティアセンター、近藤裕子、武谷広子、松生キヨ子、衣笠地区ボランティアセンター、(株)アビバ
寄付金 19件 三三、二二円
物品 17件

者宅に配布し、目立つよう冷蔵庫に貼付。

認知症高齢者が徘徊中に不安になり、訪ねるトップは交番。この特性を生かし、地域の見守りの眼として協働するため、警察署で認知症サポーター講座、地域に向けて安全講話を実施。認知症の方の搜索や孤独死予防のため警察・地域の連携によるネットワークを構築。

近隣の小売店が閉店し、足腰不自由な高齢者が買物のためバス停まで歩くのが困難。年金生活ではタクシー利用も控え気味。このため職員が地域のスーパー、小売店を個別に訪ねて販売品目、営業時間、配達エリアを調査し、地域別に「店舗マップ」を作成。希望者に配布。配達可能な店舗を開発し、高齢者が活用することで店舗の活性化にも寄与。誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し「生活しやすいよう社会を変えたい」。地域包括支援センターは、地域の実情に応じた活動を通じて、地域住民に懸命にアピールしている。(え)